

みんなの風

加藤修平後援会だより

No.24

発行 加藤修平後援会 発行責任者/古屋達夫
 南足柄市狩野340 TEL.FAX.0465-74-1855
 会報に関するお問い合わせ TEL.0465-72-2848(岩本)



令和3年度の 当初予算の概要と主要な施策

予算に込めた 市長の熱い思いと強い決意

昨年春からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民生活にも大きな影響を与え、未だに収束の見通しが立ちません。南足柄市では、特に、子育て世代の皆様に対する支援策や、業種を問わず中小事業者に対する支援策など、市独自の対策を積極的に実施してまいりました。

今年度も、市民の皆様の生活安定と地域の活性化を最優先に、事業の優先度を見極めて「選択と集中」による予算配分をしました。施策の実現に当たっては、「市民が主役の市政」を基本に、「市民協働・官民協働・地域間連携」を中心に据えて各種施策の実現にまい進いたします。

※ 令和3年度当初予算の概要 ~命と暮らしを守り活性化重視の予算~

- 一般会計 155億6,200万円 前年度比 7億8,400万円増 (5.3%増)
- 特別会計 89億1,400万円 前年度比 8,600万円増 (1.0%増)
- 企業会計 30億2,400万円 前年度比 △1,700万円減 (0.6%減)

総額 275億円 前年度比 8億5,300万円増 (3.2%増)

◎一般会計は、5年連続の増額です。◎総額は、過去30年で最大規模です。



【歳入歳出のポイント】

- ◆コロナの影響等で市税等が約7億5千万円の減少を見込みました。
 - ◆一方で、令和2年度のふるさと納税の寄附額は約28億5千万円（令和元年度は26億7千万円）で好調です。
 - ・寄附額から事務費や返礼品費等を差し引いた金額を財政調整基金など各種基金に積み立て、財政調整基金の積み立て残額は約19億4千5百万円と大幅に増加しました。
- (財政調整基金の推移は、平成24年が約6億9千万円、27年が約2億8千万円、令和元年は約12億円で、令和2年が約19億4千5百万円)
- ◆市税等の減収を補うため、財政調整基金から約11億2千万円を財源に充てました。

財政調整基金の残額は令和3年4月現在で約8億2千5百万円です。

一般的に健全とされる財政調整基金の額は、南足柄市の規模では8億円から9億円といわれています。健全財政を維持しています。

♥安全・安心や教育など暮らしにかかわる事業などを重点に予算配分

- ・コロナワクチンの接種や生活関連の道路の舗装、水路等の維持・補修、災害時の通信手段や情報発信の充実、小学校特別教室のエアコン整備など

♥文化・スポーツ施設の魅力を高め、にぎわいを創り活性化に予算配分

- ・公共施設のLED化や老朽化対策、体育センターグラウンドの人工芝生化など

* 令和3年度 主要な施策と予算 <重点は、子育て支援・教育・福祉・環境の政策推進>

◆子どもの未来を拓くまちづくり…… 約1億4千9百万円

◇出産・子どもネウボラ事業 ◇児童虐待防止対策 ◇教育用コンピュータ活用事業など

◆元気な市民があふれるまちづくり…… 約2億6千8百万円

◇体育センターグラウンドの人工芝生化 ◇おでかけ号実証運行 ◇市民の学び合いの場づくり事業など

◆地域の潜在力で産業を興すまちづくり…… 約6千1百万円

◇足柄産業集積ビレッジ整備事業 ◇千津島・苅野線道路整備など

◆資源が循環するまちづくり…… 約8千1百万円

◇林業の6次産業化による循環型地域づくり事業 ◇公共施設の照明LED化など

◆安全で安心して健康に暮らせるまちづくり…… 約3億1千9百万円

◇介護認定審査会事業 ◇包括的支援事業 ◇訪問看護事業 ◇インクルーシブ（特別支援）教育事業

◇特定健康診査等 ◇消防団車両更新 ◇IP無線機購入 ◇災害情報等一斉配信システム事業

◇交通安全対策管理事業 ◇消費生活センター事業など

◆環境と自然に配慮した魅力あるまちづくり…… 約11億6千6百万円

◇公共施設の空調設備更新 ◇ごみ減量化、資源化対策事業 ◇清掃工場施設維持補修

◇道路舗装・修繕 ◇橋りょう耐震化・長寿命化修繕 ◇市営広町住宅関連整備など

◆人と文化を育むまちづくり…… 約12億8千万円

◇小学校特別教室の空調機整備 ◇子どものための教育と保育の給付事業 ◇放課後の児童健全育成事業

◇要保護と準要保護児童生徒の援助事業 ◇寺子屋開催の支援事業 ◇自治会公民館活動助成

◇文化会館施設管理事業など

◆活力とにぎわいに満ちたまちづくり…… 約1億6千4百万円

◇農村地域防災減災事業 ◇有害鳥獣対策事業 ◇中小企業融資対策事業 ◇企業立地に伴う転入奨励金事業 ◇勤労者対策事業 ◇道の駅運営管理 ◇箱根ジオパーク推進事業など

◆市民と行政がみんなでつくるまちづくり…… 約3千7百万円

◇公益的市民活動助成(地域づくり交付金)事業 ◇マイナンバーカード交付事業など

南足柄市は県内でいち早く ICT(情報通信技術)を活用した教育を開始

国が進める、全ての児童生徒に1台ずつパソコンまたはタブレットを配備する「GIGAスクール構想」を受けて、南足柄市は、今年2月1日に県内でも一足先に、全ての小中学校で端末を利用する授業をスタートしました。

タブレット端末の様々な機能を利用することで、児童生徒が予習や復習など学びに対する楽しみや意欲が高まるとともに、各自の探求的学習に活用することが期待されます。

また、一人一台の端末配備は新型コロナウイルスの感染拡大で一斉休校になった場合に自宅学習としても活用できるものです。



岡本地区の小学校1年生の授業風景

開通を待つ「はこね金太郎ライン」 南足柄と箱根が近くなりました



◆開通を待つ「はこね金太郎ライン」

◆金時山登山口に「金時見晴らしパーキング」

- ・令和3年4月28日(水)に開通します。
- ・愛称は、県が「はこね金太郎ライン」に決定しました。
- ・南足柄市側の入口(矢倉沢)に愛称の銘板が設置されます。
- ・南足柄市側の道路沿いに、キャラクターを描いた8種類の愛称案内板が約1kmごとに設置されます。(デザインは、小田原城北工業高等学校の生徒さんです)

※箱根町のエリアは、国立公園のため看板等が設置できません。そのため、南足柄市側に銘板や看板が設置されます。

■南箱道路建設の経緯等

加藤市長が就任した平成23年当時、県道としての道路構想は出来ていたものの、実施へ向けた動きはありませんでした。箱根町長と一緒に何度も実現に向けた要望をした結果、県は、平成25年度に「南足柄市と箱根町を連絡する道路」を「かながわのみちづくり計画」に位置付けし、この事業に着手しました。

大変な難工事を克服し、完成に向けて工事が進む中、令和元年10月の台風19号によって甚大な被害を受けました。県は、さらなる予算と時間をかけて復旧工事を進め、計り知れないご苦労とご努力の結果、ここに念願の完成を迎えました。

この道路の県の整備方針は、「県西地域の新たな道路ネットワークを構築し、災害時の代替えルートになるとともに、観光振興をはじめとする地域の活性化にも役立つ重要な社会基盤」です。

■関連する道路〈都市計画道路千津島・苅野線〉の整備を推進

市は、県の「南箱道路の整備方針」と同じ考えのもと、地蔵堂から関本まで沿線の交通量の緩和など交通安全対策と広く地域の活性化に寄与するため、年次計画で苅野、弘西寺方面からアサヒビール側に連結する道路を着実に整備を進めます。



身近な外出の足「おでかけ号」 予約型乗合タクシー 実証運行始まる

市では、公共交通が不便な地域の対策として、今年2月15日から福沢地区をモデル地区にして予約型の乗合タクシーの実証運行を始めました。

この実証運行の実績を参考にして、市内全ての地域での運行についても検討されます。

利用の方法は、次のとおりです。

- ・運行日は、2月15日から9月30日まで。祝日を除く月曜日から土曜日
- ・料金は4月1日からは大人300円、子ども150円・電話予約が必要です
- ・運行日時が決まっています・「乗る場所」「目的地」が決っています
- ・同じ時間を予約した人と一緒に乘ります(最大3人)



- 予約、運行に関するお問い合わせは、伊豆箱根交通 ☎35-0818
- 利用に関するお問い合わせは、市役所高齢介護課 ☎74-3196

無料
接種
です



南足柄市のコロナワクチン接種の考え方

～みなさんの気になるワクチンについて市長に聞きました～

(市広報誌4月1日号の内容を基にしています)

- ワクチン接種は、国の指示に基づいて実施します。
- 対象者は、16歳以上のすべての市民の皆様で、希望する人です。
- クーポン券(接種券)などは、個別に郵送します。
 - ・65歳以上の高齢者の方には3月31日に郵送しました。
 - ・それ以外の方は順次発送予定。時期は未定です。

【国の事情でスケジュールが変わります】

- ◆接種の内容などについては、4月1日号の広報誌で確認してください。
- ◆65歳以上の方で高齢者施設の入所者等については、4月26日以降に接種開始の予定です。



写真はイメージです

最も大事なことは、市民の皆様の安全と安心と利便です。

そのため、市は次の3つの方法で準備を進めています。

〈市や町の事情によって方法は異なります〉

接種は予約が必要です

1 の「個別接種」は医院や診療所に予約します。

2 の「集団接種」はコールセンター、

またはWeb予約サイトで予約します。

1 かかりつけ医などの医院や診療所で接種する【個別接種】

- ・市民の皆様が心配や不安を持たずに接種できるように、医師会の先生方と話し合って連携、協力しています。

2 日曜日に、市の施設に来ていただいて接種する【集団接種】

- ・仕事やいろいろな事情で医院や診療所に行けない方のために接種場所を用意します。
- ・場所や時間などは、市が広報誌やホームページなどでお知らせします。

3 高齢者施設で接種する【施設接種】

- ・施設に入所されている方は、利用施設に直接お問い合わせください。

♥南足柄市は、県内でもいち早く3月1日に『ワクチン接種コールセンター』を設置しました。

いろいろなご相談に応じます。最新情報はコールセンターまたは市ホームページ等でご確認ください。

・ワクチン接種コールセンター ☎ 050-3821-8318 午前8時30分から午後5時まで（無休）

・担当は、市役所健康づくり課 ☎ 74-2517 午前8時30分から午後5時15分まで

いよいよ始まる!!

会員の
声

コロナワクチン接種

医療従事者のワクチン接種が始まりました。
今後高齢者や障害者、そして一般の方へと順次
展開される予定です。

市長は、市民目線で皆様の安心・安全を第一
に考え、かかりつけ医など医療機関での個別接
種を主体に、集団接種や施設接種も行うそう
です。市長との信頼関係で、医師会も全面的に協
力です。

(Y・Y)

マスクと共に過ごす日々は、
食べる事と話す事がやや控え
めになったような気がします。

口元を気をつけると、よい事もあるかも知れ
ません。その分、目ヂカラと聴く耳が冴えて
くるかも。これからは、元の生活に戻るだけ
ではない大仕事が始まりそうですね。接種の
時は、マスク笑顔でリラックス! (K・M)

